

ブロッコリー「計画生産・販売支援システム」の実用化への取組

三神農業振興センター

【背景・取組内容】

三神管内では露地野菜の作付け拡大に向け、新規品目として「ブロッコリー」の栽培を推進しています。このため、令和2年度には製氷機を導入するとともに共選体制を整備し、有利販売と省力化を図っています。

国産ブロッコリーの需要が高まり、競合産地が増えるなか、有利販売を図るためには、出荷量を安定させることと、市場へ出荷予測情報をいち早く共有することが重要であり、収穫期と出荷量を正確に予測し、計画出荷や栽培計画に活かすことが求められています。

そこで当センターでは、JA さが三神エリア及び県農業試験研究センターと連携して、収穫期・収量予測システムの開発及び実用化の取組を始めました。

【現在の状況】

3か年間の栽培データを基に“地区”、“品種”、“定植日”、“面積”などの必要項目を入力することで収穫時期と出荷量を予測できるシステムを開発しました。しかしながら、現システムは気象条件を加味することができないので、暖冬、寒冬等により予測がずれることもしばしばあります。

ブロッコリー計画生産・販売支援システムによる収穫 補正日数計算 積算気温日数計算

No	地区	氏名	品種	定植日	面積 (a)	★カタログ値 必要日数(定植)	★補正 日数	設定 積算気温	★設定気温 到達所要日数	★採用収穫予定日	実出荷 開始日	単収	★予定 出荷量(kg)
1	鳥栖	〇〇〇〇	トップスター	2023年8月24日	5	60	0	1200	49	2023年10月23日		80.0	400
2	みやき	△△△△	はつみらいさ上	2023年9月4日	2	70	0	1200	55	2023年10月28日		85.0	170

図1 必須項目の入力画面

【課題および今後の展望など】

気象条件が収穫時期に大きく影響を与えることから、予測値と実際のズレを如何に小さくできるかが課題です。

今後は事前予測により安定出荷が可能となるシステムをさらに構築し、生産計画・指導への活用を検討していきます。

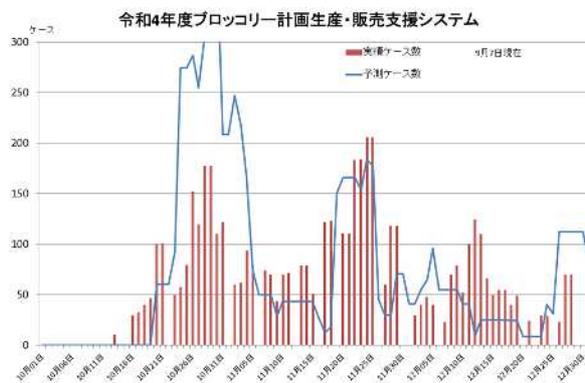


図2 出荷予測・実績グラフ

最終的には「計画生産・販売支援システム」を開発し、関係機関で共有することにより、生産者への収穫時期の指導、計画的な出荷につなげていきたいと考えています。